

# ダンスの奥で眠っている洋服、ありませんか？ 「洋服ポスト」でちょっぴり社会貢献



いらなくなった衣類が社会貢献につながる「洋服ポスト」  
詳しく知りたい方は→ <http://www.yofukupo.net/>

「また着られるのに...」。団地のゴミ箱に、たくさんのお洋服が捨てられているのを時々見かけます。

公益財団法人日本キリスト教婦人矯風会(現存する女性団体で最古。所在地は東京・新宿)では、以前から古着の回収を近隣の方々に呼びかけていました。机一つを置き、ただ受け取るだけの簡単なものでした。そこで集まった古着は、引き取り業者に1キ(レジ袋1枚分)7円で引き取ってもらい、シエルトアの活動資金に充てていました。



2013年10月、その引き取り業者から「洋服ポスト」を紹介されました。

洋服ポストとは、また着られるが眠っている、あるいは処分されようとしている衣類を集め、再び循環・活用されるようにするしくみです(特定非営利活動法人洋服ポストネットワーク協議会が提

唱)。単に資源の再利用というだけでなく、社会貢献活動や発展途上国への支援にもつながる設計になっています。



この活動に参加することを決めた私たちは、テントを購入し、看板を作り、チラシを用意し、回収した古着などの行く先を説明した流れ図を印刷し、など大わらわ。以前の「回収」時代とは違う、「主張」を持った活動となりました。何より「1キ17円」で引き取ってもらえることが利点ではありますが、重量に応じた金額の一部を、社会貢献活動に寄付することが参加の条件。矯風会では17円のうち10円を寄付しています。

回収された洋服類は、そのまま東南アジア各地の古着マーケットで販売されたり、「売れないかな?」と思われるものは、テーブルクロスや工業用ウエスなどに姿を変え、燃やせばごみになる洋服



が、ふたたび「資源」になりました。加えて洋服類の仕分け作業など、海外現地で雇用の機会も生みだしています。回収の対象となるのは、洋服類・着物・帯・下着類・靴・サンダル・ベルト・帽子・バッグ・ぬいぐるみ・タオル・シャツなどです。すべて、きれいに洗ってあることが必須条件です(詳細は下記までお問い合わせください)。

毎月第3木曜日、13時半から15時半まで2時間開設している「洋服ポストぎょうふう会」。白地に赤い文字の看板は、皆さんの間にすっかり定着しました。常連さんが「こんちは!」と自転車で運んでくる姿が毎月のように見られます。雨の日も風の強い日も、寒い日も暑い日も開催。テントが張れない強い雨の日には、矯風会館のビロティに机を置いて皆さんをお待ちしています。

回収した洋服類は、重量を計り記入し、その日の合計キロ数を洋服ポストの担当者へ報告。後日、重量に17円をかけた金額が支払われます。現在、毎月約300キから500キの衣類を回収しており、年間では3ト近くにもなっています。

時々、素敵なものもあり、バザーへ回すこともしばしば。「母が亡くなり、着物がたくさん出てきました。こういうものでもいいのですか?」と宅急便で送られる方もいらつしやいます。実は、着

物類は人気商品。そんな時は「バザーで使わせていただいてもよろしいですか?」と許可をもらい、有効に使わせていただいています。この活動は、資金作りが主な目的ではありませんが、近隣の方々のコミュニケーションの場、矯風会を知っていただく良い機会にもなっています。さらに工夫を重ね、地域に根付いたものにしていきたく考えています。

(鏡清美)



## ボランティア募集中!

～月1回「洋服ポスト」の支援をお願いしています～

「洋服ポストぎょうふう会」について知りたい方、洋服類を処分したいと考えている方は、ぜひご連絡ください。持参できない方は、宅急便でお送りいただくこともできます(送料はご負担ください)。

お問合せ ☎ 03-3361-0934  
〒169-0073 東京都新宿区百人町 2-23-5  
日本キリスト教婦風会 洋服ポスト係  
矯風会 HP: <http://kyofukai.jp/>